令和4年度 コミュニティ・スクール津屋崎小学校だより12月(2学期末)号





令和4年12月23日(金) 福津市立津屋崎小学校 校 長 木庭竜之助

みんなでつくった しののめ祭 とってもすてきな「発信」でした!

「子どもが主役になる」それが、今年の東雲祭の基本コンセプトでした。

コロナ禍が続く中、この2年間できなかった東雲祭。今年はなんとかして東雲祭を開催したい。 東雲祭の復活です。しかも復活するならば、コロナ前に戻すのではなく、これまでよりも一歩進 んだ東雲祭にしよう。その思いは、PTA 会長さんをはじめ、PTA 本部役員のみなさんも同じでし た。さまざまにアイディアが思い浮かびますが、行き着いたところは「子どもが主役になる」こ と。「子どもに任せてみよう」というコンセプトでした。

「子どもたちが主役になる」ということは、子どもたちは「楽しませてもらう」存在ではなく、「自分たちで楽しさをつくり出す」存在になるということです。子どもたちは実行委員会を中心に、私たち大人の期待と想像をはるかに超えて、すばらしい東雲祭をつくってくれました。



この写真は、全校プロジェクトとして、企画 し、全校のみんなでつくったちぎり絵(モザイク アート)です。期待と想像をはるかに超えた大迫 力の作品ができあがりました。このプロジェク トを担当した子はこう語っています。

みんなで頑張って去年作ったモザイクアートよりも(今回の作品の)達成感はすごかった。作っている間、回収しにいった間などで他学年、同学年との交流も増えとても楽しかったし良い活動だと思いました。

みんなにちぎり絵すごいねと言われたから頑張った気がしました。

併せて、実行委員の子どもたちの感想をご紹介します。

私達はずっと前から東雲祭について企画を進めてきました。なかなかうまく行かないことも出てきたりしましたが運営集会委員会、そして企画運営部会全員が協力してこの東雲祭ができたのかなと思います。企画運営部会では企画説明会や東雲祭の名前、スローガンぎめの計画を立てたり、進行をしてきました。そして東雲祭のパンフレット制作もしました。東雲祭はみんなが楽しかったといっていたのでとても嬉しくなりました。私達で東雲祭を動かしているんだなと改めて実感しました。この東雲祭は一日だけでしたが、とても楽しかったです。

東雲祭は、全校のみんなが笑って楽しく開催できたと思います。

各学級、学年のブース、発表も、子どもたちの学びや願いがあふれていました。

















発表の内容など、大人が手を出せばもっともっと見栄えのよいものができていたかもしれません。しかし、今回の子どもたちの活動を見て、「何ができたか」以上に「どうやってつくりあげたか」に価値があることを、あらためて子どもたちは教えてくれました。逆に、大人である私たちに、子どもたちの活動を見る眼があるのかを問われているような気さえしました。表面的な内容や出来映えを上から目線で批評するのではなく、そこに込めた思いやそこに至るプロセスをきちんと想像し、子どもたちの成長として見取ることができているだろうかと私自身も自問自答しました。

きっとこの経験は一人一人の子どもに、それぞれの成長の種を残してくれたことと思います。 その種を育てるのも子ども自身です。子どもたちが自分の中にある種に気づき、その種を育てる ことができるように、私たち大人はそんな子どもたちを見守り応援して参りましょう。たくさん の方々の温かい応援に心から感謝いたします。

本年もありがとうございました。本校の教育活動に対するみなさまのご理解とご協力に心から感謝いたします。みなさまどうぞよいお年をお迎えください。新学期は | 月 | 10 日(火)始業式です。